

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



今年度が始まり1ヶ月が過ぎようとしています。

3歳児にとっては初めての園生活が展開しています。朝の受け入れ時に、3歳児のお友だちが小さな声で言いました。「私は、雨が好き。」と私に伝えました。

「そうなのね。雨が好きなのね。水たまりも楽しいものね。」と返答しました。振り返った時にもう少し共感した素敵な返答ができればよかったかしらと思いました。自分の思いを言葉にして表現し、相手に伝えようとする感性が素晴らしい姿だと感じています。私たちが日々、大切にしている豊かな感性を育てるというねらいがあります。3歳児の小さなお友だちにもしっかり芽生えていると感じました。その姿をそっと後押しされているお家の方がとても素敵でした。私は、ますます朝の受け入れが楽しみになりました。

そして、4歳児・5歳児のお友だちは、仲間とともに生活や遊びを進めています。自分なりに見通しをもって生活を進めたり、好きな遊びを工夫したりしている姿が見られます。



幼稚園マニフェスト

主体性をもち、遊び・生活・活動を進めていく子どもを目指して
～日々の生活の中で【学力】を育成しています～



協同して遊びを進める【5歳児】

仲間とともに知恵を出し合い、協同しながら積み木を積み上げています。思いの共有があるため、少しずつ積みあがるスリルを味わっています。そこには、教師の存在もあります。子どもがすぐに取り出せる場所に玩具を事前に用意したり、子どもたちの人間関係や個々の育ちを見たりしながら言葉を掛けていきます。そのかわりの中には、育てほしい力を目指して、言葉を掛けたり、時には一緒に悩んだり、遊びを進めたりすることを大事にして学力を育成しています。



生き物の生態に興味関心をもつ

【5歳児】

5歳児ともなると、動植物を捉える視点が変わってきます。自分たちで動植物の飼育をしたり、命の不思議さを感じたりします。飼育場所には、物的環境として、図鑑があったり、子どもの目線に合わせた高さで飼育ケースが置けるようになっていたりしています。子どもたちは、このような整えられた教育環境の中で育ちあっています。子どもの興味・関心に合わせ、環境を構成したり、また成長に合わせて再構成したりすることは教師の役目です。日々変わっていく子どもの成長をしっかり捉えてかかわっていきたいと思います。

5歳児のみなさんは、さすがですね!



友だちと同じ遊びを楽しむ【4歳児】

4歳児は、手の大きさに合わせて握りやすく組み立てやすい玩具を用意しています。友だちを意識したり、気のあう友だちができ始めたりする時期です。気のあう友だちと遊んでいる時もあれば、自分の好きな遊びに没頭している時もあります。人とかかわりながら遊ぶことも大事ですが、まずは自分で遊びを見つける、遊び始める、挑戦してみる、ということも大切です。一緒に遊びを楽しむことでその遊びの楽しさを共有できるのが4歳児の特徴です。教師は、少しずつかかわっていきながら、友だちを意識してつながっていくように配慮しています。



自然現象に興味関心をもつ
【4歳児】

生活に慣れて、少しずつ見通しをもてるようになってきています。保育室にいても戸外の変化に気がつける心のゆとりもあります。友だちと一緒に雨が降っているか、水たまりはできているかなど、確かめあっています。自然現象の中では、不思議さの共有ができたり、その気づきを教師や子ども同士で確認しあったりして、豊かな感性の育成につながるようにかかわりをもっています。教師は、子どもたちと一緒に不思議さを共有し、心の動く瞬間を見逃さないように心掛けています。

4歳児のみなさんも素晴らしいですね！

「友だちが捕まえたサワガニの観察」



保護者様のかかわりから



「小分けしたサワガニの餌」

生き物が大好きな3歳児のお友だちがいます。

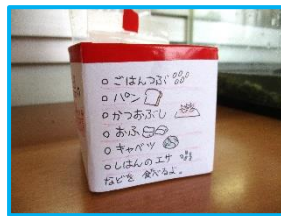
お家の方は、子どもの興味・関心に合わせて親子でサワガニを捕まえて園まで持って来ました。大好きなサワガニが園にいることで子どもは喜んで過ごすことができています。クラスに仲間入りしたサワガニは、みんなが観察したり、大事に飼育したりすることにつながっています。

さらに、お家の方は、子どもたちが飼育しやすいようにエサを入れる箱を作ってください、エサを小分けにしてくださっていました。保護者様の支援もあって、3歳児のみなが楽しく、ワクワクしながら生き物にふれる体験ができています。

「うあ～さわれた!？」
「はさみがついている!」



「お家の方の手作りサワガニの餌入れ箱」



あさがおイラスト:まひろさん

あさがおイラスト:とうごさん